

日本の美術界における年史編纂物

——東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵図書にみる

渡邊美喜

1. はじめに

日本では、古くから歴史を編修する修史事業が行われてきた。近年では特に、自治体、学校、あるいは企業を主体とした年史編纂が盛んである。¹⁾ しかしながら、非売品のものも多く、その全容は明らかではない。

本稿は、日本の美術界における年史編纂物の一端を明らかにすることを目的とする。初めに、日本での年史編纂物の中でも刊行数が最多と思われる企業によるもの、すなわち社史の傾向を概観する。次に、東京国立近代美術館アートライブラリに所蔵される図書の中から、美術館、学校、画廊、美術団体といった日本の美術界に関わる組織における年史編纂物を一覧化する。そして社史との比較を交えながら、日本の美術界における年史編纂物の特徴を考えたい。

2. 企業による年史編纂物—社史の傾向

『会社史づくりの実務』といった、社史の作り方についてのハウツー本が多く刊行されている。数年後に版が改められたもの²⁾もあり、その内容が時代とともに変化し、その時々新たな読者を獲得して読み継がれていると言えよう。

村橋勝子『社史の研究』³⁾は、社史の編纂者を第一の読み手とすると同時に、社史への関心を高めることを目的として執筆された。同書によると、明治20年代に日本最初の社史が刊行されて以来、その数は少なくとも13,000点を上回る。社史は通常の流通経路には乗らない灰色文献であり、どれだけの数が発行されているのかは定かではない。専門図書館協議会関東協議会が編集・発行する『会社史・経済団体史総合目録 追録』をもとに村橋が調査したところ、1980年代の年間平均刊行点数は369点であった。これは、明治期、昭和初期、第二次世界大戦後、第一次オイルショック後といった時期に創業した企業が、100周年、50周年、30周年、10周年といった節目をそれぞれ迎えたことによるものである。この頃、社史の刊行数がピークに達し、以後、景気の低迷の影響も受け、刊行数は減少傾向にある。

社史の特色として、村橋は以下の5つを挙げる。

- 1 会社の周年時期に編纂・発行される。
- 2 会社の自費出版物、非売品がほとんどで、発行市場、流通機構がない。このため、刊行実態の把握が困難である。
- 3 著者が明記されないものがほとんどである。

- 4 制作部数が限定され、増刷もほとんどない。
- 5 需給バランスが大きくズレている。通常は、寄贈という形で配布されるが、寄贈先は発行会社が一方的に選択・決定するため、需要者に選択権がない。関係者以外は、古本市場に依存するしかないが、これも不完全なセカンド・マーケットでしかない。

この他、社史にまつわる事象として、社史編纂担当者を企業の枠を超えて結び付けようとする「企業史料協議会」⁴⁾、社史の水準向上を目的としたコンテスト「優秀会社史賞」⁵⁾、そして実業史研究情報センターでの「社史プロジェクト」⁶⁾などの活動が注目される。

3. 東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵図書にみる日本の美術界における年史編纂物

村橋は社史を、「企業が自社の歴史を、社内資料に基づいて、会社自身の責任において刊行したもの」と定義する。これに倣い本稿では、「美術館、学校、画廊、美術団体といった日本の美術界に関わる組織が自らの歴史を、組織内の資料に基づいて、組織自身の責任において刊行したもの」を、日本の美術界における年史編纂物とする。

この定義に該当する刊行物を、東京国立近代美術館アートライブラリ（以下、アートライブラリとする）の所蔵図書から抽出し、一覧化した（表参照）。その作成方法は以下の通りである。

- 1 アートライブラリにおいて、日本十進分類法（NDC）をもとにした独自の分類記号が付与されている図書の中から、分類記号⁷⁾に基づいて図書を抽出。そこから上述の日本の美術界における年史の定義に該当するものを選ぶ（249件）。⁸⁾
- 2 アートライブラリでは、美術館や大学などの発行物のうち、厚みが薄いものには上記の分類記号を与えず、発行母体となる組織ごとに分類・配架する方法を採用している。美術館（M）、大学（U）の組織別に分類整理される刊行物から、上記の年史の定義に該当するものを抽出（85件）。
- 3 今回の調査では、展覧会カタログを対象とはしない。しかしながら、その中から美術団体、公募展の展覧会カタログ（アートライブラリではCDを付与）のうち、上記の年史の定義に該当する情報を盛り込んだものを抽出（10件）。
- 4 1、2、3の調査結果を合わせたもの（344件）を、編纂の主体となる組織、すなわち美術館（157件）、画廊（59件）、学校（32件）、美術団体（54件）、公募展（12件）、地域（4件）、その他（26件）の7つに分別した。本稿では、1と2の抽出結果で得たものから博物館を省くことはせず、美術館に含める。また公募展のうち、会員組織をもつものを美術団体とみなす。

なお、美術館の発行物（M）のうち、年報のように、単年度ごとに事業をまとめたものは対象としない。美術団体の展覧会カタログ（CD）で、団体の沿革が毎年掲載されているものもここでは省く。また、美術館におけるコレクションの形成も、美術館の伸長を計る一つの指標となる。所蔵品目録は、アートライブラリではCCと分類して別に管理されているため、これも対象より除外する。近年はDVD、CDのような光ディスクによる発行物もあるが、この度の調査対象は冊子体のみとした。

4. 調査結果にみる美術界における年史編纂物と社史との比較

4.1 刊行年

この度の調査結果で一番古い刊行物は、『京都国立博物館六十年史』(1957年)であった。続いて1960年に刊行されたものが4点ある。⁹⁾ 10年ごとにその発行点数をみると、1950年代が5点、60年代14点、70年代26点、80年代61点、90年代90点、そして2000年代が131点である。¹⁰⁾ 社史の場合は1980年代にピークとしてそれ以降減少傾向にあるというが、美術界の年史は年々発行数が増していることが分かる。

以下、村橋が指摘した社史の特色と調査結果を比較する。

4.2 周年時期に編纂・発行

村橋は社史の特色の第一に、「会社の周年時期に編纂・発行」を挙げる。調査結果には、100年を機とした刊行物の刊行主体に、東京国立博物館、京都国立博物館、東京芸術大学、女子美術大学、京都工芸繊維大学、日本美術院、太平洋美術会、東京美術倶楽部、三越美術部、三溪園の10者があった。組織の種類では、美術館、学校、美術団体、画廊、その他の5つに該当し、それぞれの種で100年を超える歴史の蓄積があり、それを著わした図書があることが分かる。なかでも1972年、2003年に100年を契機とした刊行物をもつ東京国立博物館と女子美術大学は、120、あるいは110といった更なる節目となる年を迎えた時に、異なる刊行物を出している。

美術界に特徴的であるのが、年に加えて、回数をその契機とすることが多い。『第85回記念光風会目録集：1912-1998』(1999年)は、美術団体展が85回に達するのを記念した目録集である。この他、『ギャラリー仲摩通信100号記念誌』(2003年)や『世田谷美術館プロムナード・コンサート：200回記念記録集』(2008年)などは、年ではない号や回といった単位で100、200という節目を迎える。

また開館・設立に至る経緯をまとめたものもある。¹¹⁾ 『第1回独立展のころ：独立美術協会第60回展記念』(1992年)は、60回を契機として美術団体が設立当初を振り返った。社史であれば、前史として記述されるのであろうが、美術界においてはそれだけの時期に着目した編纂物がいくつか見られる。

さらには終了を機とする事例もある。1965年に開館した長崎県立美術博物館は、2002年に閉館した。コレクションは再編され、長崎県美術館、長崎歴史博物館(いずれも2005年開館)の二つに継続される。こうした中、一つの組織の終焉を一冊にしたのが『長崎県立美術博物館閉館記念誌』(2002年)である。一方、兵庫県立近代美術館(1970年開館)は2001年に休館、そして翌年に新設・開館された兵庫県立美術館へと発展する。『兵庫県立近代美術館の31年：1970～2001』(2002年)は、後継組織となる兵庫県立美術館によって編集・出版された。この他、『九州女流画家展：別々の出発』(1985年)のような美術団体の解散を契機とする例もあった。

4.3 自費出版物、非売品

次に、2「会社の自費出版物、非売品がほとんど」という村橋の指摘には、価格が明記されているものが35件のみであり、この指摘は美術界においてもあてはまる。しかしながら近年注目されるのが、自費出版物として刊行されながらも装丁を改め、出版社の刊行物としても流通する例である。資料編・本文編の2冊から成る『東京文化財研究所七十五年史』は、東京文化財研究所発行のものは2008年と翌2009年に、

かたや中央公論美術出版によるものは2008年と2010年に刊行された。また国立西洋美術館が編集・発行した『国立西洋美術館展覧会総覧 1960-2009』（2009年）は、同年淡交社から国立西洋美術館を編著者として発行されている。

4.4 著者の明記

3「著者が明記されないものがほとんど」という指摘に対し、責任表示がない、あるいはアートライブラリでの書誌登録においては推定で登録される図書が90件あまりと、全体の3割にも満たない。ここに社史と美術界の年史編纂物との違いが見受けられる。しかしながら、責任表示の圧倒的大半は組織名であり、個人の名前はほとんど見受けられない。

4.5 制作部数

4「制作部数が限定され、増刷もほとんどない」は、制作部数が必ずしも明記されていないので分からないが、『Kanransha, 1980-1992』（1992年）は「発行部数500部」とある。4.3で指摘した東京文化財研究所などのように出版社から発行されるものは部数が多いと思われるが、「刊行実態の把握が困難」であることは間違いない。

5「需給バランスが大きくズレている」については、以下に示す他所での所蔵状況も含め検討したい。

5. 調査結果の他所での所蔵状況

上述の通り、東京国立近代美術館アートライブラリの所蔵図書から、いくつかの条件を基に美術界における年史編纂物を一覧化した。こうした図書が他所で所蔵されているかを次にまとめた。国立国会図書館と国立情報学研究所（National Institute of Informatics：NII）が提供する全国の大学図書館の総合目録データベースNACSIS Webcatの2者は所蔵の有無を示す。あわせて、公開される美術図書室をもつ9つの美術館が加盟するALC（Art Libraries' Consortium：美術図書館連絡会）での所蔵機関数を表わした。ただし、ALCでは東京国立近代美術館の三つの図書室（本館〔美術館〕、工芸館、フィルムセンター）と国立新美術館の4者の蔵書を合わせて表示する。そのため、ここでいう所蔵機関数は、東京国立近代美術館と国立新美術館を省いた7館を最大値とする。

国立国会図書館、NACSIS Webcatの両者、そしてALC7館の全てが所蔵するのは、『記憶と再生：東京都美術館80周年記念誌』（2007年）のみであった。これに次いで多くに所蔵されるのが、『静岡アートギャラリー活動記録1997.5-2010.3：心豊かな生活を彩る美』（2010年）であり、NACSIS Webcatに欠ける。ALC6館の蔵書である5点はいずれも国立国会図書館、NACSIS Webcatともに所蔵される。¹²⁾ こうした7点のうち、『小さな箱：鎌倉近代美術館の50年 1951-2001』（2001年）を除く6点は自費出版物である。これは、年史を出版する組織が国立国会図書館を含め、多くの関連機関に寄贈した結果を反映したものと推測される。

反対に、東京国立近代美術館アートライブラリにのみ収蔵され、国立国会図書館、NACSIS Webcat、そしてALC7館のいずれにもないのが23点ある。¹³⁾ これら全ては自費出版物であり、『道展四十年史』（1965年）のみ非売品と明示される。このうち『宮内庁三の丸尚蔵館開館10周年記念：2004 calendar』

(2003年)はカレンダーである。一般図書とは言えないが、アートライブラリではNDC分類をもつ刊行物として登録される。それらの発行主体となる組織は、美術館(10)、美術団体(5)、その他(3)、公募展(2)、学校(2)、画廊(1)と多様であった。刊行年は1960年から2011年と幅があり、そこから傾向は読み取れない。

国立国会図書館での所蔵状況をみてみよう。この度の調査結果のうち、国立国会図書館に所蔵されるのは212件、その比率は62パーセントである。価格をもつ図書でありながらも『西山南天子』(1963年)は、国立国会図書館に所蔵されていない。これ以外の34件は、国立国会図書館の蔵書となっている。この他、国立国会図書館は非売品7件、自費出版物171件を所蔵する。非売品(17件)あるいは自費出版物(292件)全体に対する国立国会図書館の蔵書率は41パーセント、59パーセントとなる。発行主体の組織種別に国立国会図書館での蔵書率をみると、地域(100パーセント)、学校(78パーセント)、美術館(67パーセント)の3種が全体の蔵書率よりも高く、美術団体(57パーセント)、その他(54パーセント)、公募展(50パーセント)、画廊(46パーセント)の4者はそれを下回った。冒頭にあるように、修史事業が自治体、学校で盛んであり、そうした事業の蓄積が国立国会図書館での蔵書の高比率に結びつくと考えられる。

調査結果全体を対象とした時、ALCでの所蔵機関数の平均は2.02館であった。村橋が挙げる社史の特色5「需給バランスが大きくズレている」を裏付ける結果と言えよう。

6. 考察

本稿では、美術館、学校、画廊、美術団体といった日本の美術界に関わる組織における年史編纂物を考える手掛りとして、はじめに社史の傾向を概観した。総務省が実施した事業所・企業統計調査によると2006年時点で、日本には1,515,835企業ある。¹⁴⁾ 一方、美術館(美術博物館)の数は、文部科学省の社会教育調査によると、2008年度では1,101施設である。¹⁵⁾ 本稿が対象とする組織は美術館だけにとどまらないが、その規模を企業と比較するならば1,000分の1にも満たない。

社史においては奨励事業として、優秀会社史賞が30年以上に及ぶ実績をもつ。その選考の基準には、以下の4つがある。¹⁶⁾

- 1 社内外資料の発掘、収集の努力が十分になされ、それらに基づいた記述内容となっているかどうか、情報公開は十分かどうか。
- 2 企業にとって節目節目となる重要な出来事がきちんと書かれ、その上で大筋として当該企業の歴史的な流れが理解できるような説明となっているかどうか。
- 3 読者をひきつける魅力と、読ませる工夫がなされているかどうか。
- 4 当該社史が掲げている刊行目的や編纂方針が、どれだけ実現されているか。

こうした視点は、日本の美術界で年史編纂をする上でも一つの指針となろう。

村橋は社史刊行の要因の一つに「企業の横並び意識」を挙げ、他社に勝る社史を作ろうとする意識が働く」と指摘する。日本の美術界における年史の質的向上のためには、優秀会社史賞のような奨励事業の実施が望まれる。¹⁷⁾ ここでいう美術界とは、美術館、学校、美術団体、画廊、公募展、地域、その他

と多様な組織の種類を含み、「横並び意識」が働くにはあまりにも広汎である。学校においては全国大学史資料協議会があり、その東日本部会には女子美術大学、多摩美術大学や武蔵野美術大学などが名を連ねる。¹⁸⁾ 美術館においては、美術館連絡協議会が主催する図録奨励賞(1998～2005年)、あるいはそれが名称変更した美連協カタログ論文賞(2006年～)があり、美術展カタログの質の向上に一役果たしてきた。また、『美術商の百年：東京美術倶楽部百年史』(2006年)のように、それぞれの種別で中心的な立場となる組織が模範的な年史を刊行するならば、それがその種別での質的向上に結びつくに違いない。

本稿では、東京国立近代美術館アートライブラリが所蔵する日本の美術界の年史編纂物を一表とするのに、複数の条件を用いた。こうした図書のタイトルは余りにも多様であり、書名を手がかりとして対象を絞ることはできない。そこで第一の条件として、NDC分類を基にしたアートライブラリ独自の分類から「377.28」、「702.19」といった9つを選び、それぞれの図書の内容が前述の美術年史の定義に該当するかを確認していった。しかしながら、「069」に分類される『奈良国立博物館百年の歩み』や「L720.62」の『二科70年史』などは、今回の条件からは外れてしまう。このように今回の調査結果は344件を収録するが、東京国立近代美術館アートライブラリに所蔵される日本の美術界の年史編纂物の全てを網羅したものではない。

年史編纂物の管理方法の実例を社史に見るならば、神奈川県立川崎図書館は日本有数の社史の所蔵数で知られ、その数は15,000点を超える。¹⁹⁾ ここでは社史室を設け、企業の方分野別に社史を配列する。また、学習院大学法学部・経済学部図書センターでは社史を一角に集積させ²⁰⁾、企業の名前順に並べている。アートライブラリでは、上述の通り、所蔵品目録はその活用頻度により蔵書から抽出して、分類CDを与えるという特別な管理方法を採用する。もし年史の利用頻度が高く、特別に管理する方が好都合と考えるならば、一か所に集約させて組織名順、あるいは美術館や美術団体といった種別に分けた上で組織ごとに配架する方が利用しやすくなるだろう。現時点では刊行物の厚みも、分類付与の際の条件となる。そのため、池田20世紀美術館のように、同一組織による年史がNDCを基とする独自分類とM分類とに分散管理されることもある。年史編纂物を一括管理するならば、こうした事態はなくなる。

1980年代、公立館を中心とした美術館の建造ラッシュが続いた。²¹⁾ それから30年を経ようとしている今、周年事業として記念の展覧会が開催されることが容易に予測され、また記念事業の一つに年史の編纂・刊行が予定されているかもしれない。

日本の美術館の歴史が、年史編纂物に基づき論考されている。²²⁾ そうした時、論考の基盤となる年史を編纂する役割を担う者の責任は重い。

7. おわりに

本稿は、東京国立近代美術館が開館60周年を迎える準備作業の成果物の一つである。この度作成した一表は、東京国立近代美術館アートライブラリに所蔵される日本の美術界における年史編纂物を網羅したものではない。またアートライブラリに所蔵されていないが、他所にはあるものも当然ある。しかしながらこの一覧が、日本の美術界における年史編纂物の重要性を考える契機となるならば、筆者の喜びである。

註

- 1) 「修史事業」『文書館用語集』全国歴史資料保存利用機関連絡協議会監修、大阪大学出版会、1997年、p.55.
- 2) 出版文化社社史編集部『企業を活性化できる社史のつくり方』出版文化社、2000年、227p. 同書は2007年に新版が出版された。
- 3) 村橋勝子『社史の研究』ダイヤモンド社、2002年、xii、417p. 以降、村橋の論考については同書による。
- 4) 企業史料協議会ホームページ. 2011-12-27. <http://www.baa.gr.jp/>, (参照2012-01-04).
- 5) 日本経営史研究所. “優秀会社史賞”. 日本経営史研究所ホームページ. 2011. <http://www.jbhi.or.jp/prize.html>, (参照2012-01-04).
- 6) 実業史研究情報センター. “社史プロジェクトの概要”. 実業史研究情報センターホームページ. 2011. <http://www.shibusawa.or.jp/center/shashi/index.html>, (参照2012-01-04). 実業史研究情報センターは、公益財団法人渋沢栄一記念財団によって運営される。
- 7) 本表作成の抽出条件とした分類記号とその内容は、以下の通りである。
377.2 大学の歴史・事情
377.28 個々の大学誌
702.19 日本芸術史・美術史 日本各地 通史的なことに限る.
706 学会・団体・会議
706.2 美術団体史・記念誌
706.7 美術商・価格・贋造・鑑定
*画廊・ギャラリー史・目録は、ここに収める.
706.9 美術館／関連機関全般・展覧会(複数館)
*この分類には美術館／関連機関全般にまつわる図書を収める.
706.92 各美術館資料(個別館)美術館史・関連機関史.
707.2 研究・指導法・芸術教育 美術系大学史
なお、377.2、702.19、706、706.2、706.92には大型図書もあり、本表の対象とした(L377.2などと表記)。
- 8) 42巻から成る日展史のように、一つの刊行物としてのまとまりをもつ更新資料を、1件と数える。
- 9) 1960年刊行の図書のタイトルは以下の通り。
『金沢文庫復興三十年誌』
『女子美術大学略史：創立六十周年記念』
『高島屋美術部五十年史』
『未更会十周年記念図録』
- 10) ここでは、複数年にまたがって刊行される更新資料を省く。
- 11) 『The making of our art museum 1995-2007：沖縄県立美術館ブレイバント活動記録集：美術館ができるまで』沖縄県教育委員会、2007年、95p. 横須賀市教育委員会美術館開設準備室編『はじまりのはじまり：横須賀美術館プレ美術館活動記録集』横須賀市教育委員会、2007年、95p. ほか。
- 12) ALC加盟6館が所蔵する図書タイトル(刊行年)は以下の通り。
『日本美術院大正の熱き風：百年史刊行記念展4』(1994)
『小さな箱：鎌倉近代美術館の50年 1951-2001』(2001)
『長崎県立美術館閉館記念誌』(2002)
『1988-2006 Tokyo Station Gallery：東京ステーションギャラリーの活動』(2006)
『鎌倉市鏑木清方記念美術館活動の記録：開館10周年記念誌』(2008)
- 13) 東京国立近代美術館アートライブラリにのみ収蔵される図書タイトル(刊行年)は以下の通り。
『未更会十周年記念図録』(1960)
『5周年記念誌：石橋文化センター』(1961)

- 『道展四十年史』(1965)
- 『10周年記念:石橋文化センター』(1966)
- 『日本水彩55年』(1967)
- 『新匠』(1970)
- 『鉄斎美術館:開館五周年のあゆみ』(1980)
- 千葉県立総南博物館編『10年のあゆみ』(1985)
- 『鉄斎美術館:開館十周年のあゆみ』(1985)
- 『諏訪市美術館回顧録』(1988)
- 『天寿園の歩み vol. 1』(1990)
- 『Exhibition report 1988-1991: Tokyo Station Gallery』(1991)
- 『恩賜賞・院賞授賞者名鑑』(1996)
- 『熊本県立美術館20年のあゆみ』(1996)
- 『日本美術会・日本アンデパンダン展作品と歴史:創立50周年記念(美術運動:115・116号合併号)』(1997)
- 『福岡県展史40年史1940-1994』(1999)
- 『宮内庁三の丸尚蔵館開館10周年記念:2004 calendar』(2003)
- 練馬区美術家協会編『50周年記念会員作品集』(2004)
- 『MAU-FD 1988-2005: Musashino Art University Fashion Design 1988-2005』(2006)
- 『創立五十周年記念誌:加須市美術連盟』(2009)
- 『東京都図画工作研究会創立六〇周年記念誌』(2009)
- 『尾道市立美術館30年の軌跡:昭和55(1980)年度-平成21(2009)年度』(2011)
- 『開設5周年誌館報:日本大学文理学部資料館の活動記録』(2011)
- 14) 総務省統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研究所. “II-1 会社企業数の推移”. 統計局ホームページ. 2008. <http://www.stat.go.jp/data/jigyoku/2006/kakuhou/gaiyou/08.htm>, (参照2012-01-04). ここでは会社企業を、「経営組織が株式会社(有限会社を含む)、合名会社、合資会社、合同会社及び相互会社で、本所と支所を含めた全体をいう。単独事業所の場合は、その事業所だけで「会社企業」となる。したがって、企業数は、本所事業所と単独事業所の合計をいう」と定義している。
 - 15) 文部科学省. “社会教育調査—平成20年度結果の概要”. 文部科学省. 2010-04, 79p. http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa02/shakai/kekka/k_detail/_icsFiles/afieldfile/2010/04/01/1268528_2_1.pdf, (参照2012-01-04). 種類別博物館数および博物館類似施設数のうち、美術博物館に該当する施設数の合算による。
 - 16) 註5参照。
 - 17) 『村松画廊:1942-2009』の発行、編集、造本に携わった5名が、第4回野上祐子記念アート・ドキュメンテーション推進賞(2010年度)を受賞している。
 - 18) 全国大学史資料協議会. “会員名簿”. 全国大学史資料協議会ホームページ. 2011. <http://www.universityarchives.jp/membership.html>, (参照2012-01-04).
 - 19) 神奈川県立川崎図書館. “所蔵統計(平成22年度実績)”. 神奈川県立川崎図書館ホームページ. 2011. http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/common/h22s_toukei.htm, (参照2012-01-04).
 - 20) 法学部・経済学部図書センター. “法経図書センター フロアガイド”. 学習院大学ホームページ. 2011. http://www.gakushuin.ac.jp/univ/le-lib/info/floor_guide.html, (参照2012-01-04).
 - 21) 水谷長志編『戦後国内美術館略譜—東京国立近代美術館と国立西洋美術館を中心に』『交差するまなざし:ヨーロッパと近代日本の美術:東京国立近代美術館、国立西洋美術館所蔵作品による』東京国立近代美術館、国立西洋美術館編、東京国立近代美術館、1996年、p.252-262.
 - 22) 水沢勉『美術館の条件—戦後日本の「近代美術館」の出発から』『美術批評と戦後美術』美術評論家連盟編、ブリュッケ、2007年、p.281-298.

東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵 日本の美術界における年史編纂物

凡例

- ・2011年12月時点で東京国立近代美術館アートライブラリに所蔵される図書の中から、日本の美術界における年史編纂物を一覧化した。
- ・一覧作成の条件など、詳細については本文を参照。
- ・調査結果は、編纂の主体となる組織を美術館、画廊、学校、美術団体、公募展、地域、その他の7つに分別し、その種別に表わす。
- ・種別の中では、組織名の五十音順とし、同一組織による刊行物が複数ある場合は刊行年順とする。
- ・標目は、「書名 責任表示／出版者 刊年 分類 非売品 ページ数・冊・枚（「ページ」と表記） 他所での所蔵状況（「所蔵状況」と表記）」の順に記載する。
- 「分類」は、東京国立近代美術館アートライブラリでの分類を示す。
- 「非売品」は、その図書の価格についての情報であり、価格有、非売品、あるいは価格表記のないもの（△）の3つとした。
- 「ページ数・冊・枚」は、アートライブラリでの書誌情報の形態に基づく。冊あるいは枚とある場合はそれを示し、頁付なしはnpとした。
- 「他所での所蔵状況」は国立国会図書館、NACSIS Webcat、ALC（Art Libraries' Consortium：美術図書館連絡会）という3者での所蔵状況を示す。国立国会図書館、NACSIS Webcatは所蔵の有無を○あるいは×で、またALCは加盟する美術館のうち東京国立近代美術館と国立新美術館を除いた所蔵機関数を示した。

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
美術館								
ICC コンセプト・ブック：想像力の未来を予告するミュージアム	NTT インターコミュニケーション・センター（ICC）企画・編集 / 安藤重紀 [ほか] 翻訳 / 日本電信電話	1997	706.92	△	201p	×	×	3
NTT インターコミュニケーション・センター活動の軌跡：ICC documents 1997-2000	NTT インターコミュニケーション・センター編／NTT 出版	2001	706.92	価格有	354p	○	×	3
20 年のあゆみ	秋田県立博物館	1995	M	△	31p	○	×	1
秋田市美術館 30 年のあゆみ	秋田市美術館編／秋田市美術館	1989	M	△	69p	×	×	2
一つの小さな美術館 10 年の歩み	牧田喜義編集／池田 20 世紀美術館	1985	M	△	20p：挿図	×	×	2
企画展 110 の全記録：1975-2005	池田 20 世紀美術館	2005	706.92	△	[26] p：図版	×	×	2
石川県美術館 12 年のあゆみ：昭和 34 年 -46 年	石川県美術館	1972	M	△	182p, 図版 [1] p：図版	○	×	1
石川県美術館 20 年史	石川県美術館	1980	706.92	△	176p	○	×	1
石橋美術館 50 年史：1956-2005	石橋財団石橋美術館編／石橋財団石橋美術館	2006	706.92	△	190p	○	×	2
ブリヂストン美術館 50 年史：1952-2002	石橋財団ブリヂストン美術館編／石橋財団ブリヂストン美術館	2003	706.92	△	227p	○	×	5
一宮市三岸節子記念美術館：10 年のあゆみ：1998-2009 年	一宮市三岸節子記念美術館編／一宮市三岸節子記念美術館	2010	706.92	△	119p:挿図	×	×	3
逸翁美術館 20 周年の歩み	逸翁美術館 [編]／逸翁美術館	1977	706.92	△	44p	○	×	5
逸翁美術館 50 年の歩み	逸翁美術館 [編]／逸翁美術館	2008	706.92	△	144p:挿図	×	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
岩手県立博物館 10 年のあゆみ：開館 10 周年記念誌	岩手県立博物館編／岩手県文化振興事業団	1990	M	△	211p	○	×	3
大阪市立東洋陶磁美術館 20 年史	大阪市立東洋陶磁美術館 [編]／大阪市立東洋陶磁美術館	2002	706.92	△	118p:図版	○	×	2
太田記念美術館：20 年のあゆみ	太田記念美術館 [編]／太田記念美術館	2000	M	△	113p	○	×	2
わがまち博物館グラフィティ：大田区立郷土博物館 10 周年記念	大田区立郷土博物館編／大田区立郷土博物館	1989	M	△	30p	○	×	2
友の会 10 周年記念誌：大田区立郷土博物館	大田区立郷土博物館友の会編／大田区立郷土博物館友の会	1993	M	△	76p	○	×	2
Otsuka Museum of Art：大塚国際美術館：開館 10 周年	[大塚国際美術館]	200-	706.92	△	42p	×	×	1
The making of our art museum 1995-2007: 沖縄県立美術館プレイベント活動記録集：美術館ができるまで	沖縄県教育委員会	2007	706.92	△	95p:挿図	○	○	3
尾道市立美術館 10 年のあゆみ：昭和 55 年～平成 2 年	尾道市立美術館	1990	M	△	109p	○	×	2
尾道市立美術館 30 年の軌跡：昭和 55 (1980) 年度 - 平成 21 (2009) 年度	尾道市立美術館編／尾道市立美術館	2011	M	△	71p	×	×	0
小さな箱：鎌倉近代美術館の 50 年 1951-2001	神奈川県立近代美術館編集／求龍堂	2001	706.92	価格有	271p	○	○	6
神奈川県立博物館 20 年のあゆみ	神奈川県立博物館編／神奈川県立博物館	1987	M	△	186p,図版 [2] p	○	×	1
金沢文庫復興三十年誌	熊原政男編著／金沢文庫	1960	M	△	211p,図版 [18] p	○	×	1
鎌倉国宝館四十年略史	渋谷二郎編／鎌倉市教育委員会 / 鎌倉国宝館	1969	M	△	92p:図版	○	×	1
鎌倉市竊木清方記念美術館活動の記録：開館 10 周年記念誌	鎌倉市竊木清方記念美術館, 鎌倉市芸術文化振興財団編集／鎌倉市竊木清方記念美術館 / 鎌倉市芸術文化振興財団	2008	706.92	△	98p:挿図	○	○	6
未完のあゆみ：神田日勝記念館友の会十周年記念誌	神田日勝記念館友の会十周年記念誌編集委員会編／神田日勝記念館友の会	2003	M	△	44p	○	×	1
ありがとう馬さんたち：馬の絵作品展 10 回展記録誌	[神田日勝記念館]	2005	M	△	23p	○	○	3
北九州市立美術館 20 年誌：1974 年 -1994 年：昭和 49 年 - 平成 6 年	[北九州市立美術館編集]／北九州市立美術館	1994	706.92	△	294p	○	×	3
北九州市立美術館ボランティア 20 年誌：美術の森の中で	美術ボランティア 20 年誌編集委員会編／北九州市立美術館	1994	706.92	△	114p	○	×	3
木田金次郎美術館・ボランティア活動 10 周年記念誌, 1994-2004	木田金次郎美術館ボランティアグループ「ボブラの会」編／岩内美術振興協会ボランティアグループ「ボブラの会」	2005	706.92	△	224p	○	○	1
京都芸術センター開設 10 周年記念誌	京都芸術センター編／京都芸術センター	2011	706.9	△	239p:挿図	×	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
京都国立近代美術館三十年史	京都国立近代美術館	1993	706.92	△	1 冊	○	×	2
京都国立博物館六十年史	京都国立博物館編／京都国立博物館	1957	M	△	4, 116p, 図版 [6] p: 挿図	×	×	1
京都国立博物館七十年史	京都国立博物館編／京都国立博物館	1968	M	△	158p:図版	○	×	1
京都国立博物館百年史	京都国立博物館編／京都国立博物館	1997	M	△	416p	○	×	0
京都市美術館四十年史	京都市美術館	1974	706.92	△	168p, 図 版 1 枚	○	×	2
釧路市立博物館 50 年史	西幸隆編集／釧路市立博物館	1991	M	△	90p	○	×	0
宮内庁三の丸尚蔵館開館 10 周年記念: 2004 calendar	[宮内庁三の丸尚蔵館]	2003	706.92	△	[14] 枚: 挿図	×	×	0
熊本県立美術館 20 年のあゆみ	熊本県立美術館編／熊本県立美術館	1996	706.92	△	97p	×	×	0
これからのために: 菊池恵楓園との 8 年間	蔵座江美, 大岩みゆき編／熊本市現代美術館	2010	706.92	△	119p:挿図	○	○	2
倉敷市立美術館・25 年の歩み 1983-2008	倉敷市立美術館編／倉敷市立美術館	2010	706.92	△	153p	○	×	4
群馬県立近代美術館ボランティア 10 周年記念誌: 1993-2003	群馬県立近代美術館ボランティア編／群馬県立近代美術館	2004	706.92	△	61p	○	○	5
CCA project 05.1997-03.2002	三宅暁子編／現代美術センター CCA 北九州	2002	706.92	△	157p:図版	×	×	3
高知県立美術館ホール: 1993-2000	高知県立美術館編／高知県立美術館	2001	706.92	△	51p	○	○	1
国立国際美術館 20 年史: 1977-1997	国立国際美術館編／国立国際美術館	1997	M	△	146p	○	×	0
国立西洋美術館設置の状況 第 1 巻 関係者に聞く	垂木祐三編／国立西洋美術館協会	1987	706.92	非売品	235p	×	○	3
国立西洋美術館設置の状況 第 2 巻 関係者にきく 2	垂木祐三編／国立西洋美術館協会	1988	706.92	非売品	161p	×	○	3
国立西洋美術館設置の状況 第 3 巻 年表・資料編 3	垂木祐三編／国立西洋美術館協力	1989	706.92	非売品	397p	×	○	3
国立西洋美術館三十年史: 昭和 34 年度 -63 年度	国立西洋美術館編／国立西洋美術館	1989	706.92	△	288p:図版	○	×	3
国立西洋美術館 50 年史: 1959-2009: 昭和 34 年度～平成 20 年度	国立西洋美術館編／国立西洋美術館	2009	M	△	255p:挿図	○	×	5
国立西洋美術館展覧会総覧 1960-2009	国立西洋美術館編集／国立西洋美術館	2009	M	△	396p	○	○	5
相模原市民ギャラリーの 10 年: 開館 10 周年記念誌: 1997-2007	相模原市 (相模原市民ギャラリー)	2008	706.7	△	86p:挿図	×	×	4
札幌芸術の森 10 年のあゆみ: 光と緑のサッポロ・アートパーク	イザ編集／札幌芸術の森 / 札幌市市民局文化部	1996	706.92	△	179p	○	×	2
札幌芸術の森: 15 周年記念誌	札幌市芸術文化財団編纂 / [札幌市芸術文化財団]	2002	706.92	△	143p	○	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
札幌芸術の森20周年記念誌[冊子]	札幌市芸術文化財団編／札幌市芸術文化財団	2007	706.92	△	84p	○	×	3
財団法人札幌彫刻美術館開館十周年記念要綱	札幌彫刻美術館編／札幌彫刻美術館	1991	M	△	43p	○	×	0
財団法人札幌彫刻美術館開館20周年記念誌	札幌彫刻美術館編／札幌彫刻美術館	2002	M	△	45p	○	×	0
三溪園：100周年：原三溪の描いた風景	三溪園保勝会編集／神奈川新聞社	2006	706.92	価格有	184p	○	○	3
展覧会ポスターで綴るサントリーミュージアム「天保山」の10年：全企画「53」	サントリーミュージアム「天保山」	2004	706.92	△	71p	○	×	4
Suntory Museum Osaka 1994-2010 [本体]	藤川孝子編／サントリーミュージアム「天保山」	2010	706.92	△	263p:挿図	○	○	2
滋賀県立陶芸の森開設10周年記念誌	滋賀県立陶芸の森	2001	M	△	vii, 100p:挿図, 肖像, 地図	○	×	2
琵琶湖文化館創建報告書：昭和36年3月	滋賀県立琵琶湖文化館	1961	M	△	101p	×	○	1
滋賀県立琵琶湖文化館：25年のあゆみ	滋賀県立琵琶湖文化館編／滋賀県立琵琶湖文化館	1986	M	△	90p	○	×	2
琵琶湖文化館のあゆみ：滋賀県博物館史事始め	滋賀県立琵琶湖文化館編集／滋賀県立琵琶湖文化館	2008	706.92	△	96p:挿図	○	○	1
静岡アートギャラリー活動記録1997.5-2010.3：心豊かな生活を彩る美	静岡アートギャラリー編／静岡アートギャラリー	2010	706.92	△	122p	○	×	7
信濃デッサン館日記	窪島誠一郎著／平凡社	1983-1986	706.92	価格有	2冊	○	×	2
信濃デッサン館20年：天折画家を追って	窪島誠一郎著／平凡社	1999	706.92	価格有	251p:図版	○	×	2
無言館の坂を下って：信濃デッサン館再開日記	窪島誠一郎著／白水社	2008	706.92	価格有	245p	○	×	1
渋谷区立松濤美術館5年のあゆみ：昭和56年-昭和61年	渋谷区立松濤美術館	1986	M	△	43p	○	×	1
渋谷区立松濤美術館10年の歩み：昭和56年-平成3年	渋谷区立松濤美術館編／渋谷区立松濤美術館	1991	M	△	123p	○	×	2
島根県立博物館30年のあゆみ	島根県立博物館編／島根県立博物館	1989	M	△	109p	○	×	1
島根県立美術館・5年のあゆみ, 1999-2004	島根県立美術館編／島根県立美術館	2004	M	△	71p	×	×	2
松伯美術館開館10周年記念誌：1994-2004	松伯美術館	2004	M	△	63p:図版	×	×	1
ストライプハウス美術館1981-2000	ストライプハウス美術館編纂／ストライプハウス美術館	2000	706.92	△	135p	×	○	2
諏訪市美術館回顧録	諏訪市美術館編／諏訪市美術館	1988	M	△	71p	×	×	0
館報：20年の歩み	東京都世田谷区立郷土資料館編／東京都世田谷区立郷土資料館	1984	M	△	61p	×	×	1

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
世田谷美術館プロムナード・コンサート：200 回記念記録集	石崎尚編集／世田谷美術館	2008	706.92	△	32p：挿図	○	○	2
泉屋博古館 50 年史	泉屋博古館編集／泉屋博古館	2011	706.92	△	85p, 図版 [2] 枚	○	○	2
仙台市博物館三十年史	仙台市博物館編／仙台市博物館	1992	M	△	115p, 図版 [4] p	○	×	1
田川市美術館 10 年のあゆみ：開館 10 周年	田川市美術館編／田川市美術館	2001	M	△	215p	○	×	2
多摩の作家 250 人：たましんギャラリー－収蔵作品による / 2 2	たましん地域文化財団企画・製作／多摩中央信用金庫	1995	702.19	△	163p	○	×	0
20 年のあゆみ：開館 20 周年記念	千葉県立安房博物館	1993	M	△	44p	×	×	2
二十年のあゆみ：千葉県立上総博物館	千葉県立上総博物館	1991	M	△	54p	×	○	1
10 年のあゆみ	千葉県立総南博物館編／千葉県立総南博物館	1985	M	△	44p	×	×	0
15 年のあゆみ	千葉県立総南博物館編／千葉県立総南博物館	1990	M	△	24p	×	×	1
ちひろ美術館 20 年の歩み	松本由理子編／ちひろ美術館	1997	M	△	20p	○	×	1
彫刻の森美術館・開館の記録	彫刻の森美術館編／彫刻の森美術館	1969	M	△	32p	×	○	2
彫刻の森美術館：1969-1994	彫刻の森美術館美術業務推進室編／彫刻の森美術館	1994	M	△	103p	○	○	4
調布市武者小路実篤記念館 20 年のあゆみ	調布市武者小路実篤記念館編／調布市教育委員会	2006	706.92	△	59p：挿図	○	×	3
鉄斎美術館：開館五周年のあゆみ	鉄斎美術館	1980	706.92	△	81p	×	×	0
鉄斎美術館：開館十周年のあゆみ	鉄斎美術館	1985	M	△	95p	×	×	0
鉄斎美術館：開館二十五周年のあゆみ	鉄斎美術館	2000	M	△	140p	○	×	1
天寿園の歩み vol. 1	天寿園	1990	M	△	34p	×	×	0
天理参考館四十年史	天理大学附属天理参考館編／天理大学出版部	1973	M	△	86p	×	×	2
東京国立近代美術館 30 年の歩み：1952-1982	東京国立近代美術館	1982	M	△	np	○	○	3
東京国立博物館の 100 年	東京国立博物館	1972	M	△	[33] p	×	×	1
東京国立博物館資料館：竣工記念	[東京国立博物館]	1983	M	△	12p	×	○	2
目でみる 120 年	東京国立博物館編／東京国立博物館	1992	706.92	△	112p	○	○	4
東京国立博物館平成館建設の記録：皇太子殿下御成婚記念	東京国立博物館 [ほか] 編集／公共建築協会	1999	M	価格有	113p	○	○	1
Exhibition report 1988-1991：Tokyo Station Gallery	東京ステーションギャラリー編集／東日本旅客鉄道	1991	706.92	△	1 冊	×	×	0
1988-2006 Tokyo Station Gallery：東京ステーションギャラリーの活動	東日本鉄道文化財団編集／東日本鉄道文化財団	2006	706.92	△	130p	○	○	6

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
東京都庭園美術館 15 年のあゆみ	東京都歴史文化財団	1998	M	△	1 冊	×	×	2
東京都庭園美術館 20 年のあゆみ：展覧会の記録, 1983-2003	東京都歴史文化財団, 東京都庭園美術館編／東京都歴史文化財団	2003	M	△	10p	×	×	1
東京都美術館新館 10 年の歩み：旧美術館 50 年・展覧会記録	東京都美術館	1985	M	△	22p	○	×	1
記憶と再生：東京都美術館 80 周年記念誌	東京都美術館編／東京都美術館	2007	706.92	△	351p (図版共)	○	○	7
鳥取県立博物館 10 年のあゆみ	鳥取県立博物館	1983	M	△	209p:挿図	○	○	1
鳥取県立博物館 この 10 年 平成 5 年度 - 平成 14 年度	鳥取県立博物館	2003	M	△	80p	○	○	2
砺波市美術館：子どもの造形アトリエ～11 年	砺波市美術館編集／砺波市美術館	2008	706.92	△	93p:挿図	×	×	3
20 年のあゆみ：昭和 40 年 - 昭和 60 年	長崎県立美術館	1986	M	△	77p	○	×	2
長崎県立美術館閉館記念誌	副島三喜男 [ほか] 執筆 / 長崎県立美術館編／長崎県立美術館	2002	706.92	△	257p	○	○	6
通いあう美の交差点	那須晶子, 井口智子, 井上瞳企画・編集／名古屋ボストン美術館	2010	706.92	△	65p:挿図	○	○	2
ナビオ美術館・展覧会目録	ナビオ美術館編／ナビオ美術館	1985	706.92	△	272p	×	○	2
正倉院展の歴史：奈良国立博物館 正倉院展三十年のあゆみ	奈良国立博物館編／奈良国立博物館	1977	M	△	239p (図共)	○	○	2
正倉院展六十回のあゆみ	奈良国立博物館編／奈良国立博物館	2008	M	△	284p:挿図	○	○	2
10 年の風景：奈良市写真美術館史：1992-2002	奈良市写真美術館, 入江泰吉記念写真美術館編／奈良市写真美術館 / 入江泰吉記念写真美術館	2002	M	△	88p	○	○	1
Niitsu Art Forum : 1997-2007	新潟市新津美術館編／新潟市新津美術館	2008	706.92	△	86p:挿図	×	○	3
新見美術館 15 年のあゆみ：1990-2005	新見美術館編集／新見美術館	2006	M	△	14p	○	×	1
西宮市大谷記念美術館展覧会のあゆみ：ポスターでたどる 30 年	[西宮市大谷記念美術館]	19--	M	△	1 枚	×	×	1
Yukio Fujimoto : audio picnic 1997-2006	藤本由紀夫, 池上司編集／西宮市大谷記念美術館	2007	706.92	△	162p:挿図	○	○	3
西脇市岡之山美術館 20 周年誌：財団法人西脇市文化振興財団	西脇市岡之山美術館編／西脇市文化振興財団	2004	M	△	2 冊	○	×	2
白鶴美術館五十年史	白鶴美術館編／白鶴美術館	1984	706.92	非売品	131p	×	×	2
発電所美術館活動記録：Nizayama Forest Art Museum 1995-2004	入善町下山芸術の森発電所美術館編／入善町文化振興財団	2005	706.92	△	127p	○	○	3
日上市郷土博物館：開館 30 周年記念誌	日上市郷土博物館三十周年記念事業企画委員会編集／日上市郷土博物館	2005	706.92	△	31p:挿図	○	○	2
姫路市立美術館 10 年のあゆみ	姫路市立美術館編／姫路市立美術館	1993	706.92	△	92p	○	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
現代郷土作家展記録集:1986 (S.61) 年度～1999 (H.11) 年度	姫路市立美術館	2000	M	△	52p	×	○	1
アート・ナウ全記録:1973-1990	兵庫県立近代美術館	1992	706.9	△	119p	×	○	2
兵庫県立近代美術館の31年:1970～2001	兵庫県立美術館編／兵庫県立美術館	2002	M	△	46p	○	×	3
ミュージアム・ボランティア20年史:兵庫県立近代美術館・兵庫県立美術館	兵庫県立美術館・ミュージアム・ボランティア編／兵庫県立美術館	2009	706.9	△	71p:挿図	○	×	3
「枚方の美術家展」と市民ギャラリー20年の歩み 1980-2000:市民ギャラリー開館20周年記念	枚方市教育委員会編集／枚方市教育委員会	2000	M	△	43p:挿図	×	×	1
平塚市美術館開館10周年記念記録集:美術館建設運動から開館10周年まで	平塚市美術館	2001	M	△	111p	○	×	3
広島県立美術館友の会10年誌:美術館とともに歩んだ10年 1997年～2006年	広島県立美術館友の会	2008	706.92	△	44p	○	×	0
美術館をひろげるふかめる報告書[本体]	福岡市美術館編集／コレクション／コネクション展実行委員会	2010	706.92	△	47p:挿図	×	×	3
美術館とともに歩んだ10年:北海道立帯広美術館ボランティア「しらかばの会」1992-2001	「しらかばの会」記念誌編集委員会編集／北海道立帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	2001	M	△	98p	○	×	2
北海道立近代美術館30年のあゆみ	北海道立近代美術館編集／北海道立近代美術館	2007	706.92	△	47p:挿図	○	×	2
北海道立函館美術館ボランティアいちいの会10周年記念誌:1986-1996	北海道立函館美術館ボランティアいちいの会	1997	706.2	△	86p	○	×	0
本間美術館の37年:昭和22年→昭和58年	本間美術館	1984	M	△	218p	○	×	2
松岡美術館と共に歩みて	大山教男[著]／松岡地所	2009	706.92	△	238p:挿図	×	○	3
90年のあゆみ:松本市立博物館・日本民俗資料館	日本民俗資料館・松本市立博物館	1997	M	△	np	○	×	1
水戸芸術館現代美術センター記録集	水戸芸術館現代美術センター	1997	M	△	2冊	○	○	3
普及活動の記録 1981-1985	宮城県美術館編／宮城県美術館	1986	M	△	104p	○	×	2
棟方志功記念館:10年のあゆみ	棟方志功記念館編／棟方志功記念館	1986	706.92	△	90p	○	×	2
棟方志功記念館:20年のあゆみ	棟方志功記念館編／[棟方志功記念館]	1996	706.92	△	52p	×	×	2
棟方志功記念館:30年のあゆみ	棟方志功記念館企画編集／棟方志功記念館	2006	706.92	△	65p	○	×	2
目黒区美術館開館10周年記念誌	[目黒区美術館編]／目黒区美術館	1999	M	△	111p	○	×	3
目黒区美術館ワークショップ20年の記録 1987-2007	降旗千賀子編／目黒区美術館	2008	706.92	△	4冊	○	×	4

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
「ひまわり」とともに歩んだ新たな10年：安田火災東郷青児美術館20年史	安田火災美術財団	1997	M	△	173p	○	×	4
山形美術館二十年誌	小野昇編著／山形美術館	1985	706.92	非売品	327p	×	×	1
大和文華館 10年のあゆみ：1960-1970	大和文華館	1970	706.92	△	75p(図共)	○	×	1
山梨県立美術館 10年のあゆみ：1978-1988	山梨県立美術館編／山梨県立美術館	1988	M	△	140p	○	×	1
山梨県立美術館 20年のあゆみ：1978-1998	山梨県立美術館編／山梨県立美術館	1998	706.92	△	194p	○	×	2
みなび5年間のあゆみ：みなびみんなでつくるびじゅつかん：あなたの・ことば・いろ・かたち：2002-2006	みんなでつくる美術館実行委員会編／[みんなでつくる美術館実行委員会・山梨県立美術館]	2007	706.92	△	30p	○	×	2
はじまりのはじまり：横須賀美術館プレ美術館活動記録集	横須賀市教育委員会美術館開設準備室編集／横須賀市教育委員会	2007	706.92	△	95p：挿図	×	○	5
横浜市民ギャラリー：1964-1994：横浜市民ギャラリー 30周年記念誌	横浜市民ギャラリー 30周年記念誌編集委員会編集／横浜市民ギャラリー	1995	706.2	△	227p	○	×	4
リアス・アーク美術館開館10周年記念誌	リアス・アーク美術館編集／リアス・アーク美術館	2005	706.92	△	134p	×	×	4
和歌山県立美術館のあゆみ：昭和38年4月～昭和46年3月	[和歌山県立近代美術館]	1971	M	△	46p	×	×	1
画廊								
The work of Art Salon Takahata	前山佳代子 [ほか] 編／アートサロン高島	1984	706.7	非売品	455p (図版共)	×	○	2
Art Front Gallery v. 1	池貝知子, 大森めぐみ編集／アートフロントギャラリー	2006	706.7	△	59p	×	○	0
一角獣の変身	青木外司編／青木画廊	1986	706.7	△	86p	×	×	2
Gallery Ueda Warehouse, 1982-1987	上田カルチャープロジェクト編／上田カルチャープロジェクト	1987	706.7	△	58p (おもに図)	×	×	3
第二十回なにわ会展記念画集	梅田画廊	1971	706.7	△	1冊 (おもに図版)	×	×	1
出会いとともに半世紀：梅田画廊創業五十周年記念誌	村上隆徳編集／梅田画廊	1993	706.7	△	168p	×	○	4
「3.3m [2] (ひとつぼ) 展」10回記念誌	ガーディアン・ガーデン, 大迫修三, 菅沼比呂志 [ほか] 編集・制作／リクルート	1998	706.9	△	83p	×	×	1
10 years Guardian Garden 1990→2000	ガーディアン・ガーデン編・制作・デザイン／リクルート	2001	706.7	△	106p	×	○	2
『ひとつぼ展』566人の記録：一坪展	ガーディアン・ガーデン [ほか] 編集／リクルート／リクルートクリエイティブゼンター／ガーディアン・ガーデン	2008	706.9	△	351p	×	×	4
カサハラ画廊 25年史：1972-1997	太田善規 [ほか] 編／カサハラ画廊	1998	706.7	△	264p	×	×	3

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
Kanransha, 1980-1992	[かんらん舎編] / かんらん舎	1992	706.7	非売品	197p	×	○	1
ギャラリー仲摩通信 100 号記念誌	ギャラリー仲摩企画・制作／ギャラリー仲摩	2003	706.7	△	248p	×	○	0
行動する眼：ギャラリー MMG の軌跡	益田祐作著／アーツアンドクラフツ	2008	706.7	価格有	558p 図版 [24] p	○	○	1
ギャラリー・タイセイ活動報告書	ギャラリー・タイセイ編集／ギャラリー・タイセイ	2000	706.7	△	31p	○	×	2
開廊三周年記念画集	ギャラリー・ためなが	1972	706.7	△	np	×	×	1
Kirin Plaza Osaka, Nov., 1987.-Dec., 1990	キリンビル	199-	706.92	△	48p	×	×	1
Kirin Plaza Osaka: 1991 → 1995	Kirin Plaza Osaka [編] / [キリンプラザ大阪]	1996	706.92	△	81p	×	×	3
20 years Creation Gallery G8 1985 → 2005	クリエイションギャラリー G8 編集 / [リクルート]	2005	706.7	△	2 冊	○	○	3
未更会十周年記念図録	兼素洞／三彩社	1960	L706	△	図版 74 枚	×	×	0
Kodama Gallery, Contemporary Art Institute, Osaka: 1987-1997	加藤義夫, 大野裕子編／児玉画廊・児玉現代芸術研究所	1997	706.7	△	109p	○	×	2
西山南天子 [壺中居]	秦秀雄 [著] / 青木一夫編／三彩社	1963	706.7	価格有	75p	×	○	2
五都展三十年の歩み	五都美術商連合会	1981	706.2	△	23, vp	×	×	1
藤田八栄子の軌跡：桜画廊 34 年の記録	桜画廊記録集編集会編／桜画廊記録集編集会, 2004.5	2004	706.2	△	114p	×	○	3
私の画廊：現代美術とともに	佐谷和彦著／佐谷画廊出版部	1982	706.7	価格有	204p	○	○	2
画廊のしごと	佐谷和彦著／美術出版社	1988	706.7	価格有	315p	○	○	3
原点への距離：美術と社会のはざままで	佐谷和彦著／沖積舎	2002	706.7	価格有	273p, 図版 2 枚	○	○	2
佐谷画廊の三〇年	佐谷和彦 [著] / みすず書房	2007	706.7	価格有	231p：図版 16p	○	×	3
The top floor : Gallery [2] 1981-1986	ザ・トップ・フロア実行委員会編集／ザ・トップ・フロア実行委員会	2006	706.7	△	143p	×	○	1
資生堂ギャラリー七十五年史：1919-1994	資生堂企業文化部編／資生堂／求龍堂（発売）	1995	706.7	価格有	736p	○	×	4
信濃橋画廊	信濃橋画廊編／信濃橋画廊	1995	706.7	△	2 冊	×	×	2
ギャラリーノート [スペースユイ]	木村秀代著／三月書房	2010	706.7	価格有	198p	○	○	0
スルガ台画廊 35 年史：1962-1997	串田光子編集／銀座スルガ台画廊／光アート	1997	706.7	△	141p	×	×	2
輝け 60 年代：草月アートセンターの全記録	「草月アートセンターの記録」刊行委員会 / フィルムアート社（発売）	2002	706	価格有	415p	○	○	2
高島屋美術部五十年史	高島屋美術部五十年史編集委員会編／高島屋本社	1960	706.2	△	386p（図版共 原色張込図版 12 枚）	○	×	3
芝英会十周年記念図録	高島屋美術部／高島屋美術部	1961	L706	△	30p	×	×	1

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
高島屋美術部 80 年史	高島屋美術部 80 年史編纂委員会編／高島屋	1992	706.2	△	395p	○	×	3
桃李帖：秩父商会創立五十周年記念集	〔秩父商会編集〕／秩父商会	2001	706.7	△	165p	○	×	2
東京画廊の 40 年	東京画廊編集／東京画廊	1991	706.7	△	297p	×	×	3
東京美術市場史 歴史編・資料編	東美研究所編／東京美術倶楽部 / 大日本絵画巧芸美術	1979	706.7	価格有	255, 701p	○	×	1
美術商の百年：東京美術倶楽部百年史	東京美術倶楽部百年史編纂委員会編／東京美術倶楽部・東京美術商協同組合	2006	706.7	価格有	1472p	○	×	3
ときわ画廊 Tokiwa Gallery 1964-1998	大村和子著／三上豊	1998	706.7	非売品	146p	×	○	2
名古屋画廊の 60 年	名古屋画廊	2002	706.7	△	144p	×	×	2
南天子画廊・30 年：1960-1990	矢田堀良子編集／南天子画廊	1991	706.7	△	204p	○	×	2
日動画廊物語	〔日動画廊編〕／〔日動画廊〕	200-	706.7	△	[13] p	×	×	1
日本画廊 1966-1990	中島理壽, 梅田恒子編集／日本画廊	1991	706.7	△	74p	○	○	1
日本現代版画商協同組合 30 年史	日本現代版画商協同組合編／日本現代版画商協同組合	2005	706.7	△	106p	×	×	3
日本洋画商史	日本洋画商協同組合編／美術出版社	1985	706.7	価格有	549, xip : 図版	○	○	4
日本洋画商史 [再版]	日本洋画商協同組合編／日本洋画商協同組合	1994	706.7	非売品	534p	○	○	2
Nob Gallery : 1989-1998	Nob Gallery	1998	706.7	△	230p	×	○	2
表視ロフト：美術館 2nd ロフトの記録	美術館 2nd ロフト運営委員会	1981	706.7	△	np	×	○	0
Fuji Xerox print collection	東京パブリッシングハウス編集／富士ゼロックス	2007	706.92	△	[32] p	○	○	3
三越美術部 100 年史	三越編集／三越	2009	706.2	△	274p:挿図	○	×	4
村松画廊：1942-2009	椎名節, 光田由里, 相馬理奈子編集／村松画廊	2009	706.7	非売品	383p:挿図	×	○	3
彌生画廊 55 年史：1948-2003	小川貞夫編／彌生画廊	2003	706.7	非売品	221p	○	×	2
彌生画廊 60 年史	小川智子企画・編集／彌生画廊	2008	706.7	非売品	157p:挿図	○	×	3
南青山ギャラリー物語 [西福]	青山益朗編／コエランス	2003	706.7	価格有	227p	○	○	5
吉井画廊 21 周年	座右宝編／吉井画廊	1987	706.7	△	281p	×	×	3
銀座画廊物語：日本一の画商人生	吉井長三著／角川書店 / 角川グループパブリッシング (発売)	2008	706.7	価格有	215p	○	○	1
緑蔭小舎と作家たち	柳田富美子著 / 尾立麗子, 秋葉恵美, 綿貫不二夫編／ときの忘れもの / ワタヌキ	2009	706.7	△	157p	○	○	3

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
学校								
IAMAS 十周年誌	鈴木宣也, 小林桂子編集／IAMAS (情報科学芸術大学院大学 + 国際情報科学芸術アカデミー)	2007	706.92	△	2 冊	○	×	4
海松 (Mirou) : 大手前大学のカルチュラルルーツ・艸公	「海松」研究会編／大手前大学交流文化研究所	2005	707.2	価格有	47p	○	○	1
金沢美術工芸大学 50 年史 : 開学 50 周年記念	50 年史編纂委員会編／金沢美術工芸大学	1996	377.2	非売品	2 冊	○	×	2
京都工芸繊維大学百年史	京都工芸繊維大学開学 100 周年・大学創立 50 周年事業マスタープラン委員会記念誌刊行専門部会編集／京都工芸繊維大学百周年事業委員会	2001	377.2	△	[20] , 566p	○	×	0
瓜生山学園三〇年史	瓜生山学園三〇年史編纂委員会編／京都造形芸術大学	2010	707.2	△	2 冊	○	×	2
「桑沢」草創の追憶 (桑沢文庫 : 2)	高松太郎著 / 桑沢文庫出版委員会編集／桑沢学園 / そしえて (発売)	2004	707.2	△	209p:挿図	○	○	1
佐賀大学美術・工芸教室 50 年 : 1953-2003	佐賀大学文化教育学部美術・工芸教室 [編]／佐賀大学	2003	L377.2	非売品	180p	○	○	2
アーティスト・イン・レジデンス 1996-2007	情報科学芸術大学院大学メディア文化センター	2008	706.92	△	143, 125p: 図版	○	○	4
女子美術大学略史 : 創立六十周年記念	女子美術大学略史編纂委員会編／女子美術大学	1960	377.28	△	140p, 図 16p	○	○	2
女子美術大学八十年史	女子美術大学編／女子美術大学	1980	707.2	△	611p, 図版 10 枚	○	×	2
女子美術大学略年史 : 女子美 100 年とその時代 : 1900-2000	女子美術大学百年史編集委員会編／女子美術大学	2000	707.2	△	189p	○	×	3
女子美術大学百年史	女子美術大学百周年編集委員会／女子美術大学	2003	707.2	△	392, 145p	○	×	2
女子美術大学創立 110 周年記念略年史 : 女子美百十年 : 1900-2010	女子美術大学歴史資料室編／女子美術大学	2011	707.2	△	73p : 挿図	×	×	1
京都学生アートオークション報告書	大学コンソーシアム京都	2011	706.7	△	99p	○	○	1
多摩美術大学, 40 年の歩み, 1935-1976	多摩美術大学	1976	U	△	[13] p (おもに図)	×	×	1
多摩美術大学 50 年史 : 1935-1985	奥野健雄 [ほか] 編／多摩美術大学	1986	377.2	△	199p	○	×	3
多摩美術大学大学院美術研究科博士後期課程十年史	本江邦夫, 多摩美術大学大学院研究室編／多摩美術大学	2011	U	△	14p	×	×	3
筑波大学[芸術]20周年記念誌: アート & デザイン	[筑波大学芸術 20 周年記念誌編集委員会編]／筑波大学芸術専門学群	1996	377.28	△	241p	○	×	1
東京芸術大学百年史	東京芸術大学百年史編集委員会編／音楽之友社	1987	377.2	価格有	5 冊 (ただし音楽系は除く)	○	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
上野直昭日記（東京芸術大学百年史：東京美術学校篇；第3巻別巻）	上野直昭著／芸術研究振興財団，東京芸術大学百年史刊行委員会編集／ぎょうせい	1997	377.2	△	387, 43p, 図版 6p	○	×	2
藝大素述：美術学部教育現場から	田畑実希子，宮元三恵編集／東京芸術大学美術学部／東京芸術大学出版会	2007	707.2	△	353p	○	○	2
開設5周年誌館報：日本大学文理学部資料館の活動記録	日本大学文理学部資料館編集／日本大学文理学部資料館	2011	U	△	31, 図版 [2] p	×	×	0
武蔵野美術大学六〇年史：1929-1990	創立六〇年史編集委員会編／武蔵野美術大学	1991	707.2	△	455p	○	×	4
学校日誌：第一冊昭和六（一九三一）年十月二日～昭和九（一九三四）年八月二十九日 第二冊昭和九（一九三四）年九月一日～昭和十（一九三五）年十二月五日（武蔵野美術大学大学史料集：第1集）	金原省吾著／武蔵野美術大学	1999	377.28	△	165p	○	○	3
教務手帳／教務委員会及教授会会議録／助手会日誌（武蔵野美術大学大学史料集：第2集）	金原省吾著／武蔵野美術大学	2001	377.28	△	71p	○	○	2
同盟休校事件（武蔵野美術大学大学史料集：第3集）	大学史料委員会編集／武蔵野美術大学	2002	377.28	△	114p	×	○	2
申請書等（武蔵野美術大学大学史料集：第4集）	大学史料委員会編／武蔵野美術大学	2004	377.28	△	225p	○	○	3
武蔵野美術大学短期大学部47年の系譜	短大記念誌編集委員会大学史料室編集／武蔵野美術大学	2006	707.2	△	423p:挿図	○	×	3
MAU-FD 1988-2005：Musashino Art University Fashion Design 1988-2005	小池一子企画・文／武蔵野美術大学美術資料図書館	2006	U	△	31p	×	×	0
金原省吾日記（武蔵野美術大学大学史料集：第5-8集）	武蔵野美術大学大学史料委員会編／武蔵野美術大学大学史料室	2007	377.28	△	4冊	○	○	1
α M アーカイヴズ：1988-2008	武蔵野美術大学広報課 α M プロジェクト，安達事務所編集・制作／武蔵野美術大学	2009	706.7	△	31p:挿図	×	○	2
武蔵野美術大学のあゆみ：1929-2009	武蔵野美術大学八〇周年記念誌編集委員会編／武蔵野美術大学	2009	707.2	△	174p:挿図	○	×	4
美術団体								
IAA10年の歩み	国際造形芸術連盟（IAA）日本委員会	1966	706.2	△	74p	×	×	2
i.m.a. 展：創立20周年記念作品集：1981-2001：国際現代美術家協会	金井清子〔ほか〕編／国際現代美術家協会 i.m.a.	2001	706.9	△	95p	×	×	2
ROZO 群のすべて	ROZO 群事務局〔編〕／ROZO 群事務局	1994	706.2	△	25p	×	×	2
TAO25周年記念	TAO 事務局	1982	706.2	△	63p	○	×	1
伊勢原美術作品集：市政施行20周年記念	伊勢原美術協会編集／伊勢原市	1991	L702.19	△	1冊	○	○	1
一陽会五十年史	『一陽会五十年史』編集委員会編集・著述／一陽会	2004	706.2	△	397, 103p	○	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
一水会史 第1巻	一水会	1983	706.2	△	276,19p, 図版24枚	○	○	3
創立五十周年記念誌：加須市美術連盟	創立五十周年記念誌編集委員会編集／加須市美術連盟	2009	706.2	△	104p:挿図	×	×	0
九州女流画家展：別々の出発	九州女流画家展	1985	706.2	△	80p:挿図	×	○	2
1992 京都彫刻家連盟：創立20周年記念誌	京都彫刻家連盟	1992	706.2	△	140p	○	×	1
桐生美術協会40周年記念画集	桐生美術協会	1988	706.2	△	np	○	×	1
具体美術の18年	「具体美術の18年」刊行委員会	1976	706.2	△	np	○	×	2
行動美術三十五年の小史	向井潤吉，難波香久三編／行動美術協会	1980	706.2	△	451p (図版とも)	○	×	2
光風会史：80回の歩み	光風会史編纂委員会編／光風会	1994	706.2	△	424p	○	○	4
第85回記念光風会目録集：1912-1998	光風会	1999	706.2	△	643p	○	×	0
国画会80年の軌跡：80回国展記念誌：絵画，版画，彫刻，工芸，写真	国画会会務委員会企画／国画会	2006	706.2	△	44p	○	×	3
自由美術協会史：1937-2001	自由美術協会編／自由美術協会	2002	706.2	△	131p	×	○	2
朱葉会小史：女流洋画家の始まりとその歩み 第70回記念	朱葉会	1990	706	△	1冊	○	×	1
春陽会画集：50周年記念	春陽会編／三彩社	1973	706.2	価格有	233p	○	×	0
春陽会七〇年史	春陽会七〇年史刊行委員会編／春陽会	1994	706.2	△	540p	○	×	3
新匠	[新匠会]	1970	706.2	△	45p:挿図	×	×	0
新制作四十年記念素描集 限定版	新制作協会編集委員会編／新制作委員会	1976	L706.2	△	1冊	×	×	2
創元会六〇年史：一九四〇～二〇〇一	創元会60年史編集委員会編集／創元会	2001	706.2	△	394p	○	×	3
創元展目録集 第1回 - 第60回 (1941-2001)	創元会目録集編集委員会編集／創元会	2001	706.2	△	331p	○	○	2
大潮会40周年記念画集	大潮会画集編集委員会編／大潮会事務所	1976	L706	△	207p (おもに図)	○	×	1
太平洋美術会百年史	太平洋美術会百年史編纂委員会編纂／太平洋美術会	2004	706.2	△	415p:図版	○	×	3
たぶろうの歩み：たぶろう会創立35周年記念	たぶろう美術協会	2000	706.2	△	136p	○	×	0
知求会40年総目録集	知求会	1996	706.2	△	317p	×	○	4
地展：1997-2000	地展	2001	706.2	△	1冊	×	×	1
第1回独立展のころ：独立美術協会第60回展記念	独立美術協会編／独立美術協会	1992	706.9	△	75p	×	×	3
日府展作品集 第50回記念	日本画府	2003	CD	△	132p	×	○	0

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
日展史	日展史編纂委員会企画・編集／日展	1980-2002	706.2	価格有 (うち1冊のみ価格なし)	42冊	○	○	4
文展・帝展・新文展・日展全出品目録：明治40年-昭和32年(日展史資料：1)	日展史編纂委員会企画・編集／日展	1990	706.2	価格有	617p	○	○	3
文展・帝展・新文展・日展出品歴索引：明治40年-昭和32年(日展史資料：2)	日展史編纂委員会企画・編集／日展	1990	706.2	価格有	133p	○	○	3
Nitten art collection	日展編集／日展	2005-	706.2	価格有	9冊	○	×	1
日本水彩 55 年	[日本水彩画会]	1967	706.2	△	65p	×	×	0
日本水彩 60 年	[日本水彩画会]	1972	706.2	△	79p	×	×	1
日本水彩 65 年	[日本水彩画会]	1977	706.2	△	90p	×	×	1
再興院展七十年の歩み展	日本美術院編／日本美術院	1985	CD	△	287p	○	×	3
五浦の五人展：近代日本画の夜明け	朝日新聞東京本社企画第一部	1986	CD	△	1冊	○	○	4
日本美術院創立九十周年記念展	日本美術院，日本経済新聞社編／日本美術院	1988	CD	△	240p	×	○	3
日本美術院百年史	日本美術院百年史編纂室編／日本美術院	1989-2004	706.2	非売品	19冊	○	×	5
日本画近代化の旗手たち：日本美術院百年史刊行記念展	朝日新聞東京本社文化企画局企画第一部	1992	CD	△	193p	○	○	2
日本美術院大正の熱き風：百年史刊行記念展 4	[日本美術院編]／朝日新聞東京本社	1994	CD	△	186p(おもに図版)	○	○	6
日本アンデパンダン展の25年：作品と歴史(美術運動：92・93号合併号)	日本美術会	1972	706.9	価格有	130p	○	×	1
日本美術会・日本アンデパンダン展作品と歴史：創立50周年記念(美術運動：115・116号合併号)	日本美術会	1997	706.9	△	172p	×	×	0
50周年記念会員作品集	練馬区美術家協会編／練馬区美術家協会	2004	706.2	△	27p (おもに図)	×	×	0
白日会史 1	白日会史編纂委員会／白日会	1979	706.2	△	385p	×	○	3
白日会展総出品目録 第1回～第59回	白日会展総出品目録編集委員会／白日会	1984	706.2	△	427,108p	×	×	3
白日会：油絵・水彩画・版画・彫刻 第85回記念展：2009	白日会図録部編／白日会	2009	CD	△	209p	×	×	2
パンリアル展 第50回	[パンリアル美術協会事務所]	1992	CD	△	30p	×	×	1
モダンアート協会 30 年史	モダンアート協会編／モダンアート協会	1980	CD	△	240p	○	×	2
横の会全作品集 1984 → 1993	横の会編／京都書院	1993	706	価格有	395p	○	○	3
立軌展：創立60周年記念	立軌会編集委員会編集／立軌会	2008	CD	△	np	×	○	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
公募展								
VOCA 1994-2003：The vision of contemporary art：10 周年記念作品集	「VOCA 展」実行委員会〔ほか〕編集／「VOCA 展」実行委員会	2003	706.9	△	101p	×	○	4
市展 40 年史	小樽市美術展覧会運営委員会〔編〕／小樽市美術展覧会運営委員会	1986	706.2	△	174p	○	×	2
県展史：香川県美術展覧会 昭和 9 年～昭和 60 年	香川県文化会館企画・編集／香川県教育委員会	1985	702.19	△	428p	○	×	1
県美展 40 周年記念作品集：洋画・日本画・写真・デザイン・工芸・彫塑	鹿児島県美術協会編／鹿児島県美術協会	1992	706.2	△	111p	×	×	2
神奈川県美術展の記録：1965-1995	神奈川県美術展委員会	1997	L706.92	△	29p	×	○	3
埼玉県展の 50 年	第 50 回埼玉県美術展覧会記念誌編集委員会編／埼玉県美術家協会	2000	706.2	△	162p	○	×	0
新潟県美術名鑑：新潟県美術展覧会 50 回展記念	新潟日報事業社編集・制作／新潟日報社	1995	702.19	価格有	536p	○	○	1
姫路市美術展 50 年のあゆみ	姫路市立美術館編／姫路市立美術館	1996	706.9	△	51p	○	×	2
福岡県展史 40 年史 1940-1994	福岡県美術展覧会実行委員会編／福岡県美術展覧会実行委員会	1999	706.9	△	682p	×	×	0
道展四十年史	北海道美術協会編／北海道美術協会	1965	706.2	非売品	391p	×	×	0
都城市美術展覧会 33 年の歩み	都城市立美術館	1986	706.2	△	110p	×	×	1
安井賞展 40 年史	安井曾太郎記念会編／安井曾太郎記念会	1999	706.9	価格有	561p	○	×	1
地域								
秋田市史 第 15 巻	秋田市編／秋田市	2000	702.19	△	xi, 806p	○	○	1
新修倉敷市史：第 13 巻 美術・工芸・建築	倉敷市史研究会編集／倉敷市	1994	702.19	△	662p	○	○	1
佐世保美術のあゆみ	「佐世保美術のあゆみ」編集委員会編／佐世保美術振興会	1992	702.19	△	392p	○	○	1
美術工芸（仙台市史：特別編 3）	仙台市史編さん委員会編集／仙台市	1996	702.19	△	590p	○	○	2
その他								
都市芸術実際会議経過記録誌：2001/1-7：会設立から雑誌創刊まで	小林等編／MASC 都市芸術実際会議	2001	706.2	△	60p	×	○	1
アーカスプロジェクト 10 周年記念誌	アーカスプロジェクト実行委員会	2005	706.9	△	169p	○	×	5
石橋財団 50 年史 1956-2005	石橋財団編集／石橋財団	2006	706.92	△	167p	×	×	4
5 周年記念誌：石橋文化センター	石橋文化センター	1961	706.92	△	89p	×	×	0
10 周年記念：石橋文化センター	石橋文化センター	1966	M	△	[22] p （おもに図）	×	×	0
ヴェネチア・ビエンナーレ：日本参加の 40 年	国際交流基金，毎日新聞社編集／国際交流基金	1995	706.9	△	235p	○	×	4
財団法人小山敬三美術振興財団五年の歩み	小山敬三美術振興財団編集／小山敬三美術振興財団	1990	706.2	△	109p	×	×	2

書名	責任表示／出版者	刊年	分類	非売品	ページ	所蔵状況		
財団法人小山敬三美術振興財団 設立二十周年記念集	小山敬三美術振興財団編集／小山敬三美術振興財団	2006	706.92	△	81p：図版	×	○	2
1979 Art Tody 1989：Sapporo Triennale	Today 編／Today	1990	706.2	△	220p	×	○	1
財団法人地域創造	文化科学研究所編／地域創造	2004	706.2	△	39p	×	○	2
トーキョーワンダーサイト 2001-2006：東京が、	宮村周子 [ほか] 編集／トーキョーワンダーサイト	2008	706.92	△	253p：挿図	×	○	1
東京都図画工作研究会創立六〇周年記念誌	玉置一仁編集／辻政博	2009	706.2	△	52p：挿図	×	×	0
東京文化財研究所七十五年史	国立文化財機構東京文化財研究所編集／国立文化財機構東京文化財研究所	2008-2009	M	△	2冊	○	×	4
奈良国立文化財研究所二十年史 [本編]	奈良国立文化財研究所 [編]／奈良国立文化財研究所	1973	M	△	2冊	○	×	0
奈良国立文化財研究所三十年史	奈良国立文化財研究所	1982	M	△	314p, 図版 24 枚	○	×	0
四十年の春秋：奈良国立文化財研究所 40 周年記念図録	奈良国立文化財研究所編／奈良国立文化財研究所	1993	M	△	73p：挿図	○	○	3
日本芸術院史	日本芸術院事務局編／日本芸術院事務局	1963	706.2	△	351p	○	○	4
日本芸術院史 資料編	日本芸術院	1979-1981	706.2	△	2冊	○	×	3
恩賜賞・院賞授賞者名鑑	日本芸術院編集／日本芸術院	1996	706	△	340p	×	×	0
七〇万時間の旅 2：昭和 3 年 - 昭和 20 年	乃村工芸社社史編纂委員会	1975	706	非売品	136p	○	×	1
美術館連絡協議会 20 年の歩み	美術館連絡協議会事務局編／美術館連絡協議会事務局	2002	706.9	△	75p	○	×	3
美術館連絡協議会 25 年のあゆみ	美術館連絡協議会事務局編／美術館連絡協議会事務局	2007	706.9	△	209p, 図版 [6] p	○	×	5
風呂敷画商一代記：商売から得た人生の苦楽	油井一二著／美術年鑑社	1988	706.7	価格有	254p, 図版 [2] p：図版	○	×	2
片眼の達磨：続・風呂敷画商一代記	油井一二著／美術年鑑社	1990	706.7	価格有	245p, 図版 [1] 枚	○	×	0
ミュージアム・シティ・プロジェクト 1990-200X：福岡の「まち」に出たアートの 10 年	山野真悟，宮本初音，黒田雷児編集／ミュージアム・シティ・プロジェクト出版部	2003	702.19	価格有	151p	○	○	1
倫雅美術奨励賞の 20 年	倫雅美術奨励基金編集／倫雅美術奨励基金	2008	706.2	△	49p	×	×	2

Annuals Compiled by the Japanese Art World in the MOMAT Art Library Collection

Watanabe Miki

Japan has a long tradition of activities to edit and compile histories. In recent years, the compilation of such annuals, especially by local governments, schools and corporations, has been very popular. However, as many of these are not for sale, the complete picture concerning them is not clear. The objectives of this paper are to throw light upon some of the annuals compiled by the Japanese art world and call attention to their importance.

This paper first surveys company histories, which are compiled by corporations and believed to have the largest publication lots among annuals compiled in Japan. Next, of the publications in the collection of the Art Library of the National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT), as of December 2011, a cataloging is carried out of the annuals compiled by organizations concerned with the Japanese art world. This produces a catalog listing 344 such titles, selected by using several conditions to extract them from among the publications in the collection. However, as these conditions alone are not sufficient, there are several annuals included that are not pertinent, and the catalog is not necessarily comprehensive. The survey results show that the types of organizations mainly compiling the annuals are: museums-157 titles, galleries-59 titles, schools-32 titles, art-related organizations-54 titles, public exhibitions-12 titles, local governments and other organizations-4 titles, others-26 titles.

A comparison with the features of corporate annuals makes clear the similarities, as well as differences, in corporate annuals and the annuals compiled by organizations concerned with the art world. Furthermore, this paper examines the trends apparent upon investigating the state of filing and storing the annuals selected, at the National Diet Library and several other libraries.

Lastly, this paper points out that activities that recognize and encourage excellent examples of annuals and the publication of exemplary annuals by organizations in a leadership position spur the qualitative improvement of annuals compiled by the Japanese art world. In addition, suggestions are offered on methods to manage the annuals that will lead to their more effective use.